



青森市町会連合会事務局 青森市
 幸畑若葉町会誕生 市営住宅が五団地

シ/創立 64世帯 3組 町会長 石橋孝美
 若い人達の集団で活力溢れたいと平均年齢30才
 という町運に新風を吹きこんでもらいたい

地区情報

大湯町会消火訓練実施 23 全町民参加
 平和台町会集会所落成式 30 (会長五十嵐千代次)
 南金沢町市民館 落成式 31 (会長佐藤隆太郎)
 舘貝町会市民館落成式 (会長鎌田武治)
 (之は町社境内に二階建て木造建築)

執行部会 9/25

各部活動状況報告
 電気料補助基準の検討(支払料金の削減に)
 原案大体諒解した

地区連合町会長会議 10/5

規約改正並に事業部設置要綱について検討
 電気料補助基準の改正
 臨時総会の懇親会の方法改善について

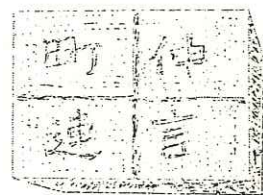
防犯灯寄贈先きまる

東北電力より市を經由して当会に寄贈された防犯灯は
 次の町会へさまった
 唐橋 沖館 三平岡 幸畑阿部野 おおすみ 止三上町
 瀬戸子 切島 鍋坂 佃一 新城下 桜川 団地 本泉
 桜川南
 なお、白の工事は十月中旬に終わる予定、完工の際は現場確認
 の上、当事務局までご連絡ください

福祉部会より 10/9

京はアンケートの結果と対策について協議
 子ども会について
 ・子ども会のない町会に対して設置を呼びかける
 ・市子運に対しては側面から協力する
 ・青少年センターグループ、市担当者との会合をもち
 促進の方向にかむ
 新生活動について
 (1) 葬儀通夜の際の袋物停止運動を促進する
 (2) 結婚披露宴における祝儀を会費割にする
 ようすすめら

右(1)(2)の項目については、いづれ当連合会
 主催で全市へ呼びかける



公平が不公平に
 なった話

敗戦で壊滅的打撃を受けた青森市に
 漸くハダカ電球が街灯に時ぞれば、

文字どおり暗夜の光明で、街の人々は救われた思いで
 ホットしたものである。昭和三十三年長年陳情の効みのり
 始めて市から補助がでた一灯五、五田(年額)である。
 蛍光灯も水銀灯もない当時としては公平な基準であ
 り、にろう。いま不満の声がかかれば、量に伴い、基準
 の不合理が認識されるようになったからである。
 40%ト白熱十灯の町会と40ワットの水銀灯一灯の町会の
 支払料金はほぼ同額だが、補助はいまの基準では
 一灯分と十灯分の差にわり、50%未満への追加で救わ
 れるものの百%と五十%の差がでてくる。いま
 白熱はほとんど蛍光に切り替わりつつある。基準が
 変わって補助が減額になって、雨量がふえてくると
 余り換にはけらぬ苦である。この辺で支払料金の
 の何%といつ皆に公平な基準に切り変えるべき
 ではなからうか。戦後の時代は既に終わりのため、
 参考までに昨年電話で聞いた他都市の基準を照会
 してみる。

弘前市 支払料金の60%の補助、但し十万円以内
 函館市 支払料金の50%補助、但し設置費の八割補助
 仙台市 市道は支払料金の100%、但し県国道は支払料
 料金の四割補助
 山形市 40ワット支払料金の30%補助
 秋田市 支払料金の50%補助
 このことに耐えきれない説明は、事務局だより前号60号
 掲載、十月三日の地区連合会長会議に配布、単位町
 会長へ届いておることと思えますので、ごらんください

事務所移転おしらせ

青森市中央一丁目二番二五号
 市民会館の南
 社会福祉協議会事務所の三階
 (夜間急病センターの建物)

